



特集「にいかっぷピーマン」

～新冠産ピーマンが消費者の手に届くまで～

新冠を旅立ったピーマンは、その後、どのようにして消費者の手に届くのか。その疑問を解決するため、札幌に出向き取材を行いました。

取材をすすめると、にいかっぷピーマンは、市場でせりにかけられ、その後、店頭で販売されていることがわかりました。

せいさん
生産

せんか
選果

しじょう
市場

まず最初にお邪魔したのは、札幌中心部にある札幌中央卸売市場です。新冠産ピーマンは丸果札幌青果株のせり売り会場で取り扱われていました。

せりは朝6時30分に始まり、山積みされた野菜が瞬く間に引きさらわれていきました。この日、せりにかけられた新冠産ピーマン70箱も約1分で次々と値がつけられていきました。



はんばい
販売

次にお邪魔したのは、ピーマンが販売されている、スーパーアークス北24条店です。新冠産ピーマンは、青果売場入口とワゴンコーナーの2か所で販売されていました。

担当者によると、今年は6月末から新冠などの道内産ピーマンの販売が始まり、本州産のものより、新鮮で濃い緑色をしていることから販売は良好とのことでした。



しょうひ
消費

突撃インタビュー
札幌中央卸売市場で働く
にいかっぷ
ピーマンのせり人
丸果札幌青果株
青山慶之さんにお聞きします



せりを仕切る青山さん



広報 今日一日で、青山さんが取り扱った新冠産ピーマンはどのくらいありましたか？
青山 この札幌市場で70箱、その他、市内の店舗に560箱納入しているので、計630箱になります。今はまだ取り扱い量が少ないですが、最盛期は新冠産ピーマンだけで1日1500箱になります。

広報 ここで取り扱っているピーマンは、他どの産地のものがありますか？
青山 新冠産のほか、南幌町、長沼町、小樽市、富良野市、東神楽町、東川町、旭川市です。

広報 道内にも多くの産地がある中で、新冠産ピーマンの評価はどうですか？
青山 取引価格を見ると分かりますが、Mサイズで新冠産は一箱2000円、その他の産地は同じサイズで1800円が最高なので、1箱2000円の差があります。新冠のピーマンが市場で信頼を得ているということが分かると思います。

広報 新冠のピーマンの魅力はどのようなところにあると思いますか？
青山 新冠産ピーマンの魅力は、色や形が整った品質の良い商品を、6月から10月頃までシーズンを通して途切れることなく仕入れることができることです。

広報 新冠へ何かリクエストはありますか？
青山 よく言われることですが、一番大事なことは、生産されたものが安全で安心であるということです。これからも、安全で安心なピーマンを生産していただきたいと思っています。

もう一つ、さらに生産量を増やしてもらえれば嬉しいです。作付面積が増えているということなので、もっともっと、生産していただければ、こちらでもどんどん売っていききたいと思います。(取材日・7月6日)